

Y29a 紀美野町みさと天文台における地域住民と取り組む広報普及活動とその効果

矢動丸 泰, 山内 千里, 小澤 友彦 (紀美野町みさと天文台), みさと天文台友の会

紀美野町みさと天文台には、多くの公開天文台と同様、友の会がある。友の会は広報誌の共同発行やイベントを共同開催するだけでなく、天文台が行いづらい活動を実施することがある。例えば、大型スーパーでの出張観望会や天文関連グッズ(食品系)の企画販売などである。

これまでに販売された物に、探査機はやぶさの帰還にあわせて企画したイトカワクッキーがある。地元レストランが製作し、みさと天文台を始め、全国の天文台等で計4千個の販売実績がある。また、2014年皆既月食の際には「元祖皆既月食饅頭」を作った。友の会が中心となり和歌山市内の和菓子店と共同で開発し、みさと天文台は監修として協力した。中秋の名月イベントでお披露目した後、開発和菓子店や有名百貨店などで月食当日まで約1ヶ月間販売された。みさと天文台では皆既月食当日のみ販売した。

皆既月食饅頭の記事が朝日新聞デジタルで2014年10月3日に掲載されると、新聞だけでなく、ラジオやテレビなど様々なメディアが取り上げた。NHK総合「おはよう日本」午前7時台でも月食当日と翌日の2回紹介されたので、広告効果は非常に高かったといえる。今回の皆既月食に関する活動は、友の会の自由な発想や行動力を活かし、天文台は少しフォローをするだけで大きな効果を得ることができた例である。

本講演では、天文台が友の会と行っている活動内容を紹介するとともに、なかでも皆既月食に関して、マスコミ等への掲載状況や宣伝効果などの報告を行う。また、天文台と友の会で共同の活動する際の問題点や課題もあわせて議論する。